

淺田兄弟敵討

淺田兄弟敵討一件

淺田鉄蔵復讐記

合冊

解説について

本書は、茨城県立図書館蔵書に基づいて、同郷土資料整理ボランティアグループが、原文の読み下し、ワープロ入力、および編集を行い解読したものである。

グループ作業に関する事務とりまとめについては図書館情報資料課のお世話を受けた。製本にあたっては同じく同県立図書館の図書修理ボランティアグループに指導をいただいた。あわせてお礼を申し上げます。

令和元年七月

茨城県立図書館 郷土資料整理ボランティアグループ

今泉友見 金沢多恵子 唐沢矩子 金原ヒロ 丹 豊 辻雅子

中山真一 堀江克己 柚原俊一

浅田兄弟敵討について

文政元年（一八一八）七月、小田原藩の足輕浅田只助が同僚の成瀧万助に殺されてしまい、捕らえられた万助は二年後に脱獄し行方をくらましてしまう。只助の息子の鉄蔵（二十一歳）と門次郎（十二歳）は、領主に仇討願いを届け出ました。領主から幕府への届けが済み、免状を受け、敵を追って各地を旅して探し回ることができるようになりました。

仇討を許可された兄弟は文政三年八月に小田原を出、大阪や四国まで足を延ばすが消息はつかめず関東に戻ってきました。

幼い門次郎は、父只介の従弟の馬場儀右衛門の役宅である浜町矢ノ倉（東京都中央区）にとどまり、剣の修業をしながら待つことにし、鉄蔵は、一人で万助を探し始め、大山石尊（大山阿夫利神社）に願を掛け、修業の後、神宮寺（伊勢原市）で虚無僧となり相模・伊豆・駿河・甲斐を一年ほど回ったが手掛かりはつかめなかった。虚無僧は持ち場が決まっています。その土地以外には行けなかったため、神宮寺を退寺し、虚無僧をやめて敵の行方を捜したので。やがて鉄蔵は江戸に出府し、木挽町（東京都中央区）の勝右衛門（鉄蔵姉婿）宅に身を寄せ、江戸の御府内外を探し回るかたわら一年ほど一刀流の剣術修業も行い、その後、上総・下総などを回ったが何も手掛かりは得られず日々は過ぎて行きました。

二人が本懐を遂げるのは、仇討の旅に出てから三年八ヶ月後の文政七年四月。万助を常陸国で見たという報を受け、兄弟は水戸街道を下り二十四日から水戸の上市・下市を探しました。二十六日に那珂川向岸の願入寺に参拝した夕暮れ時の帰り道、とうとう間違ひなく万助と思われる男を見つけました。後をつけ、小さな商店からの小田原訛りの残る話し声に確信を深くしました。早朝仕入れに出たという万助の帰りを待ち、四月二十七日夕食中の万助を二人で討ち取りました。水戸藩の役人に敵討ち免状を見せ、小田原藩からの検使の到着後五月五日小田原藩に引き渡されました。兄弟に対する処遇は水戸藩の意向で手厚いもので、藩主徳川齊脩は二人の敵討ちを孝道の鑑みと賞賛しました。小田原藩でも兄弟にそれぞれ五十石を与え広間席詰とし最下級藩士から中級藩士に抜擢して功をたたえたそうです。

兄弟は、万助の一人暮らしの目の見えぬ老婆を時折訪れ面倒を見て感謝されていました。また、万助はこの事件の後、願入寺の近くに葬られ、祝町の人達により墓石が建てられました。討たれた人は悪人と思われるのが一般的ですが万助はなぜか例外で、現在でも一種の信仰の対象になっているようで詣でる人が多いそうです。

この敵討ちは最後の公認の敵討ちという事で、流布された話が読本としていろいろ残されています。この合冊は茨城県立図書館所蔵の三冊の「浅田兄弟敵討ち」を解読し纏めたものです。

写録注

読者の便を考慮し、本書では以下のように標記しました。

- 旧漢字は原則として常用漢字としたが、固有名詞(地名、人名)はこの限りでない。
- 異体字、変体仮名は正字に直した。
- 読み仮名は原本と同様片仮名とした。原本にならない、本文同様の文語体である。仮名づかいは、原文の歴史的仮名づかいのままとした。
- 同一人物に充てられた人名漢字は全て原文のままとした。
- 明らかな誤字は「ママ」とルビを振り、正しい字を()内に示した。また明らかな脱字は()を挿入して補った。
- 闕字(位の高い人に敬意を表しその名・言葉の上を空ける)は、二マス空けた。
- 原文は句読点がなく書き継いでいる。読みやすくするため句点(。)は一マス、読点(、)は半マス空けた。
- 数字の大字(壺・弍・参・拾)は、漢数字(一・二・三・十)に置き換えた。また、略字(廿・卅等)も漢数字に改めた。
- 坎(敷Ⅱか)は、小さい「か」に置き換え行の中央に配置した。

目次

解説について

浅田兄弟敵討について

i

写録注

iii

浅田兄弟敵討

1-1

浅田兄弟敵討一件 全

2-1

浅田鉄蔵復讐記 全

3-1

※原本には、茨城県立図書館所蔵

「資料番号 001054074115 浅田兄弟敵討」

「資料番号 001050907771 浅田兄弟敵討一件」

「資料番号 001050909983 浅田鉄蔵復讐記」を用いた。

解説 浅田兄弟敵討 浅田兄弟敵討一件 浅田鉄蔵復讐記

発行日 令和元年七月

編者 茨城県立図書館

郷土資料整理ボランティアグループ

今泉友見 金沢多恵子 唐沢矩子 金原ヒロ

丹 豊 辻 雅子 中山真一 堀江克己

柚原俊一 (五十音順)

事務局 茨城県立図書館情報資料課 長山尚子 矢澤美津子

発行者 茨城県立図書館

〒31010011

茨城県水戸市三の丸一―五―三八